

議 長	副議長	
		  

総務建設常任委員会視察報告書

令和5年11月6日

大口町議会 議長 江 口 昌 史 様

大口町議会 総務建設常任委員会

委員長 江幡 満世志



委員会視察の結果(状況)は、別記(別紙)のとおりです。

記

1 実施日時 令和5年10月2日(月)

2 視察場所 ①株式会社 アイシンCSSカンパニー

②幸田町

3 視 察 者 江幡 満世志、鈴木 和江、山崎 卓美、宮川 基英、松本 佳子、

丹羽 勉、江口 昌史

町民安全課:稲垣 敬、近藤 和彦

以上、9人

4 視察内容 デマンド交通システムの開発及び提供をする株式会社 アイシンCS

Sカンパニーでは、システムの内容・利用自治体の現状・コールセン

ターの見学

幸田町ではシステム導入の経緯と現状、メリット・デメリット等について

5.特記事項

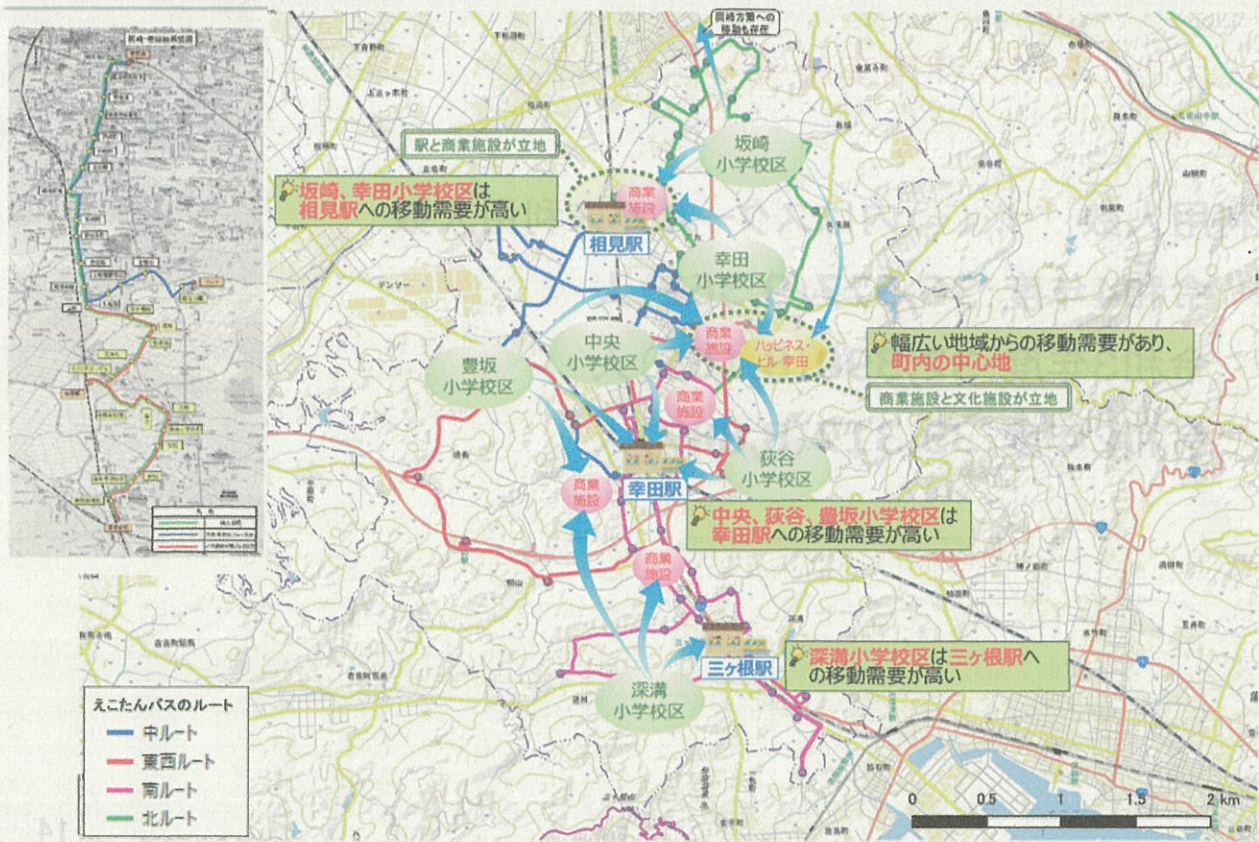
① (株)アイシン CSS カンパニーでの研修内容

- ・ 全国で60以上の自治体の実施および試行中。
 - ・ 予約依頼の「セミデマンド」申込みと同時に対応する「フルデマンド」のふたつの対応システムがあり、大半がフルデマンドを利用している。
 - ・ コールセンターでは20人ほどが全国の自治体からの依頼に対応していた。
 - ・ 導入している自治体には事前に自治体の行政区やもっと狭い範囲の地域で住民への説明会を行うことで利用し易い利点等の理解を得るようにしているとのこと（登録しないと利用できない）。
-

② 幸田町

- ・ チョイソコこうたはタクシー同様のコミュニティバスとして導入した。
 - ・ 従来、えこたんバスと藤田病院乗合いバスだけでしたが町の地形上、今回試行運転を継続しているとのこと。全て運賃は無料とのこと。
- 別紙、研修時の資料を添付致しますので参考にしてください。
-

幸田町の公共交通



12

えこたんバス

○ えこたんバス概要 (財政課所管)

料 金: 無料

対 象 者: どなたでも利用可能

運行形態: 路線定期運行のコミュニティバス

運 行 日: 年末年始(12/29~1/3)を除く平日 ※祝日も運行

運行時間: 8時30分~17時 1日6便(2・4・6便は逆回り)

※15時~16時の間は小学生を対象としたスクールバスとして運行している。

運行エリア: 町内全域 4ルート(北・中・東西・南)



13

えこたんバス

○ えこたんバス利用実績等

利用人数 ※()内はスクールバス利用人数

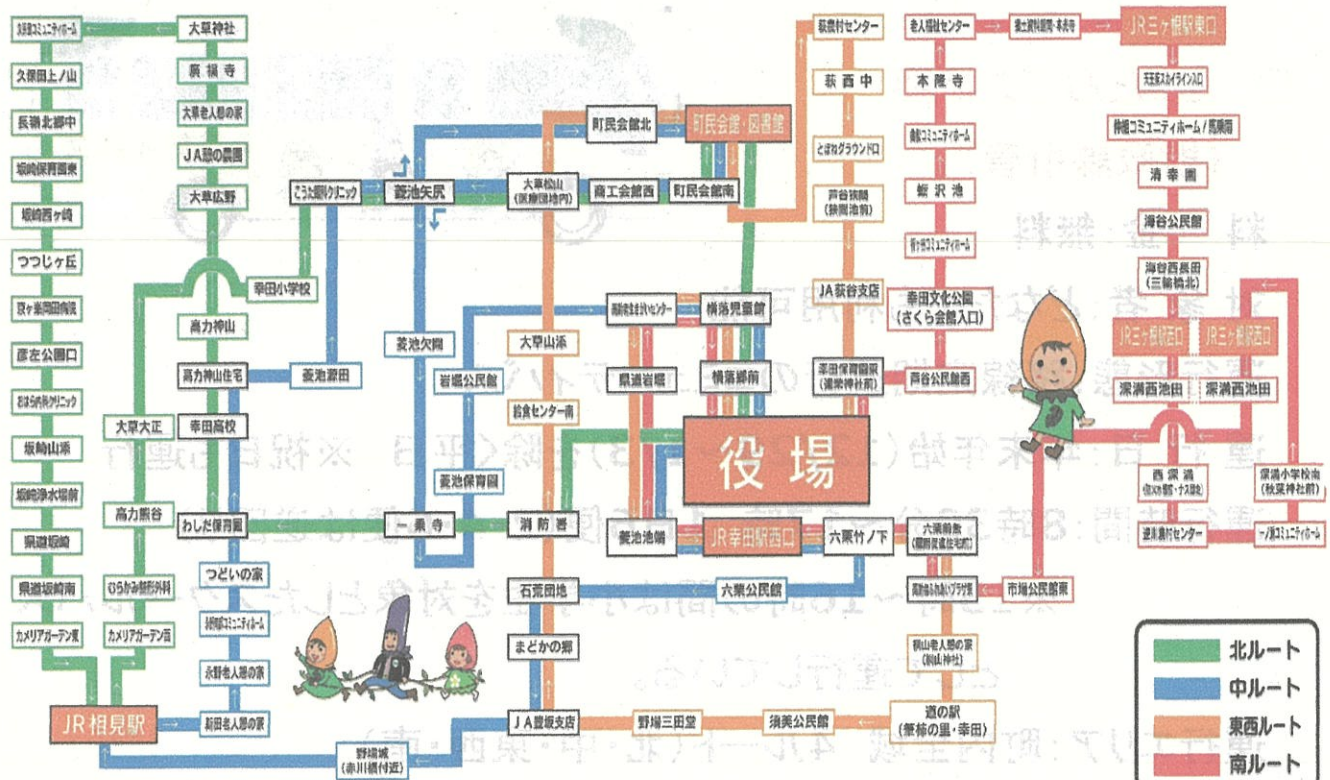
令和4年度:36,527(9,362)人

令和3年度:32,390(8,165)人

令和2年度:33,317(8,887)人

14

えこたんバス



※このルート図は1・3・5便のルート図です。2・4・6便は逆回りとなります。(矢印が逆になります)

15

都市交通マスタープラン

都市交通マスタープラン(2020.7改定)

重点戦略

華田町の課題を踏まえ、以下の施策を重点戦略として位置づけ、取り組みます。

重点戦略1 鉄道駅の再整備

華田町内にある3つの鉄道駅を拠点として町民誰もが快適・円滑に移動が可能となるよう、鉄道サービスの向上に取り組むとともに、今後さらに進行する高齢化に対応するため、鉄道施設のバリアフリー化の促進に取り組みます。

【施策の概要】

○華田駅の整備

華田町の玄関口としてふさわしい中心拠点として、土地利用構想との整合を図りつつ、まちづくりと一体となった新たな交通結節点（橋上駅や自由通路、駅前広場等）の構築の検討を推進します。

○三ヶ根駅の整備

高齢者や障がい者等の利用に配慮し、バリアフリーの考え方を踏まえた施設（エレベーター、多機能トイレ等）の設置の検討を推進します。

重点戦略2 バス等サービスの向上

町内外問わず、誰もが快適に移動できる交通サービスを提供するとともに、自動車から公共交通への利用転換を促進するため、バス等サービスの向上に取り組みます。

【施策の概要】

○コミュニティバスの再編

町民の足を確保する基幹バスとして、コミュニティバスの運行ルートや時間、料金形態等の再編を図り、さらなるサービス向上に向けた運行形態の見直しを推進します。

○「藤田県合流タクシー」の導入

町民の生活利便性の向上を図るため、岡崎市に新たに整備された「藤田医科大学岡崎医療センター」への移動手段として、根見駅等から医療施設までの「藤田県合流タクシー（社会実験）」を導入します。

重点戦略3 デマンド型交通の導入

コミュニティバスでは対応しきれない郊外無路の移動手段を確保するため、また高齢ドライバーの運転免許返納後の移動手段を確保するため、モビリティ・ブレイクの考え方を踏まえたデマンド型交通の導入に取り組みます。

【施策の概要】

○デマンド型乗り合いタクシー等の導入

新たな地域内交通システムとして、デマンド型乗り合いタクシー等の導入を推進し、高齢者等の生活利便性の向上を図ります。

重点戦略4 自動運転の実証実験の推進

自動運転が実用化されることで、高齢者等の移動支援や交通事故の減少、渋滞の緩和等の効果が期待されることから、町民誰もが安全・安心に移動できる交通サービスの提供を図るため、今後も継続して自動運転の実証実験の推進に取り組みます。

【施策の概要】

○自動運転の実証実験と実用化の推進

自動運転に関わる多様な主体との連携・協働を促進し、今後も継続して自動運転の実用化に向けた実証実験に取り組みます。

将来交通体系

華田町が目指す将来の交通体系のあり方を下図に示します。

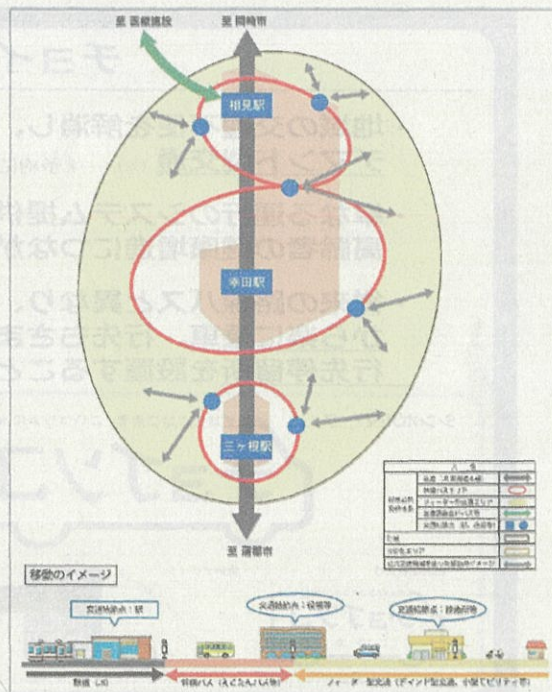


図 将来公共交通体系図

チョイソコこうた

○ チョイソコこうた

(企画政策課所管)

料金: 無料(R2.10~社会実験中)

対象者: 豊坂・深溝小学校区に

在住の65歳以上の人又は障害者手帳をお持ちの人

運行形態: 区域運行のデマンド型乗り合い送迎サービス

運行日: 年末年始(12/29~1/3)を除く平日

運行時間: 9時~16時

予約方法: 電話及びインターネット

運行エリア: 豊坂及び深溝小学校区

※令和4年3月より運行エリアを深溝学区に加えて豊坂学区まで拡大

委託業者: (株)アイシン



チョイソコこうた

2020年10月、社会実験として、デマンド型乗合サービスの「チョイソコこうた」の運行を、豊坂小学校区在住の高齢者及び障がい者を対象に開始。

チョイソコとは？

- ・地域の交通不便を解消し、主に高齢者の外出促進に貢献する
デマンド型交通（※） ※予約に応じて乗降場所や経路を変更可能な交通システム
- ・単なる運行のシステム提供に留まらず、
高齢者の健康増進につながる外出促進の“コト”づくりを推進
- ・従来の路線バスと異なり、停留所をきめ細かく設置しご自宅付近から楽に乗車、行先もさまざまなお出かけのニーズにあわせた行先停留所を設置することにより気楽にご利用できる移動手段

シンボルマーク



自治体名入り



車両デザイン



～チョイソコの想い～

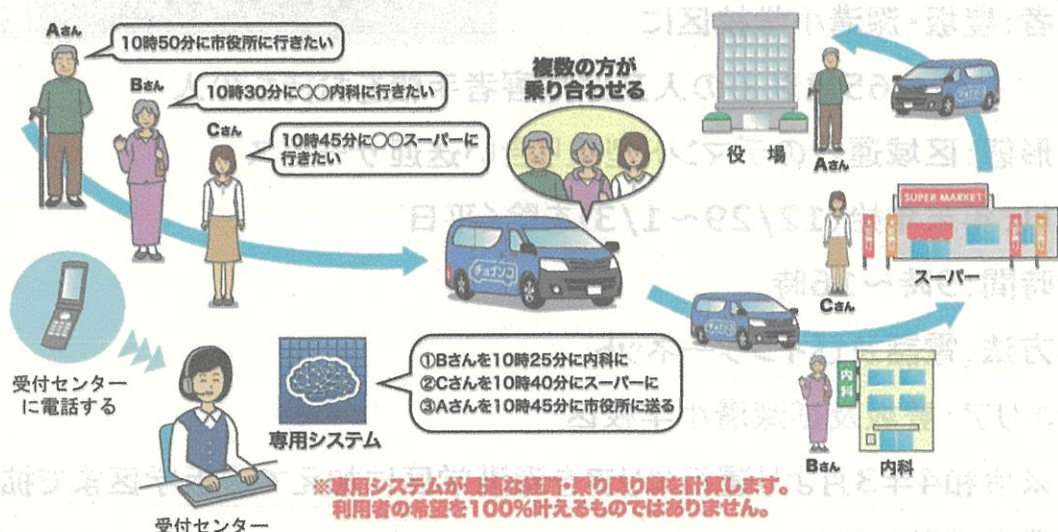
シンボルマークに表現されている「チョイソコ」の各文字は老若男女な人を表し、利用者の多様性を表現しています。
多様な人が乗り合わせる移動により、外出を楽しみ、健康増進につながる…そのような世の中を実現していきたいと考えます。

18

チョイソコこうた

チョイソコの特徴 高齢者利用に最適化された運行システム

チョイソコは会員登録された利用者から乗車依頼を受付し、最適な乗り合わせと経路を計算し、目的地まで乗り合い送迎でお運びするしくみです。



19

チョイソコこうた

チョイソコの特徴

高齢者利用に最適化された運行システム

チョイソコは会員登録制で、利用時には事前のお電話が必要です。
高齢者とのコミュニケーションに優れたオペレーションにより安心運行が実現。

①会員登録申込

- ・世帯別ではなく個人別
- ・最寄りの停留所を記載
- ・緊急連絡先を記載
- ・アンケートに記載

会員証が
届いたら
利用可能

②会員証

- お電話でお伝えください
- ① お名前と会員番号
 - ② 利用したい日・到着時刻
 - ③ 乗る場所・降りる場所
 - ④ 同乗者の有無・お名前

受付時間：8:30-15:30
運行時間：9:00-16:00

表：会員番号・氏名・最寄り停留所

裏：お電話に伝える内容

③利用開始

お乗りになりたい30分前までに電話します。
(受付は1週間前から可能)

- ①名前と会員番号 ②利用希望日・時刻
③乗る場所・降りる場所 ④同乗者の有無
を伝えます。

帰りの受付を
することも
できます



山田花子、会員番号〇〇です。
〇〇停留所から〇〇整形外科に
9月6日の11時頃までに行きたいです。
同乗者はありません。

オペレーターとやりとりし
停留所に来ていただく
時刻が伝えられます。

それでは
9月6日木曜日の
10時35分に
〇〇停留所まで
来てください。



指定された日時に、
停留所に向かいます。



停留所には看板が貼ってあります



車が到着したら乗車し
運転手に名前と
行き先を伝え、
乗車料金を払います。



20

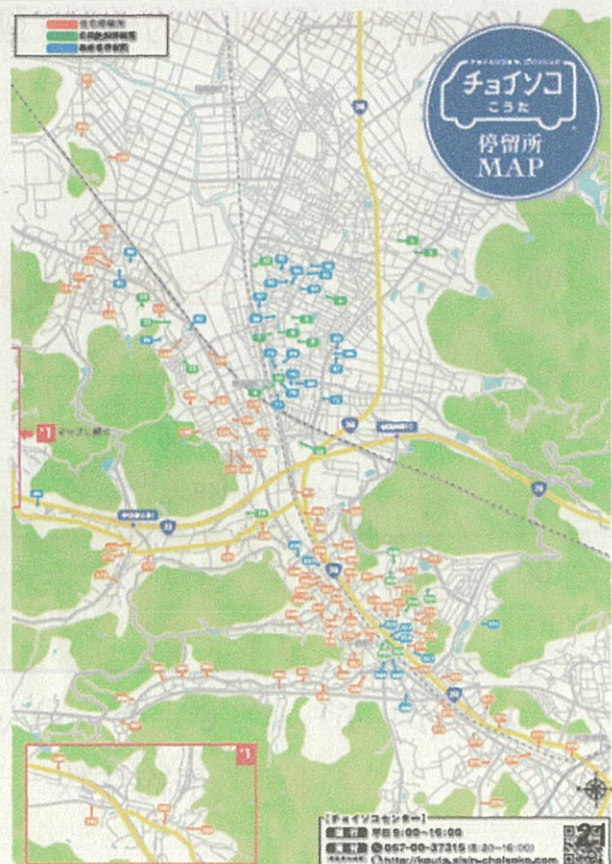
チョイソコこうた

現在、2学校区を1台で運行中。

運行状況に余裕があることから、
2022年3月に、深溝小学校区を追加。
多く利用されている停留所は、整形外
科、スーパー、JR駅であり、交通弱者を
支援している。

課題

- ・費用対効果をあげるため、登録者数、利用者数を増やす。
 - * 交通弱者のための事業でもあり、費用対効果のみで判断するのは…。
- ・健康な高齢者を増やし、社会保障費を抑えるために、外出を促進するための「コト」づくりを進める。
 - * 他課との調整に難航。



【チョイソココールセンター】
受付時間 9:00-16:00
電話番号 057-00-37315 (※24時間)
ウェブサイト <http://choisocho.com>

チョイソコこうた

○ チョイソコこうた利用実績等

登録者数

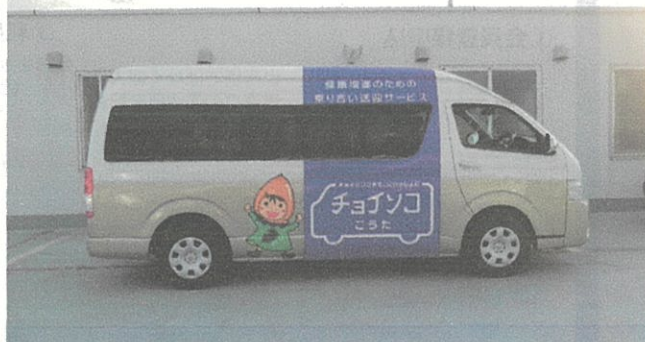
R4.3末時点:338人

R5.3末時点:427人

利用人数(延べ人数)

令和4年度:3,474人

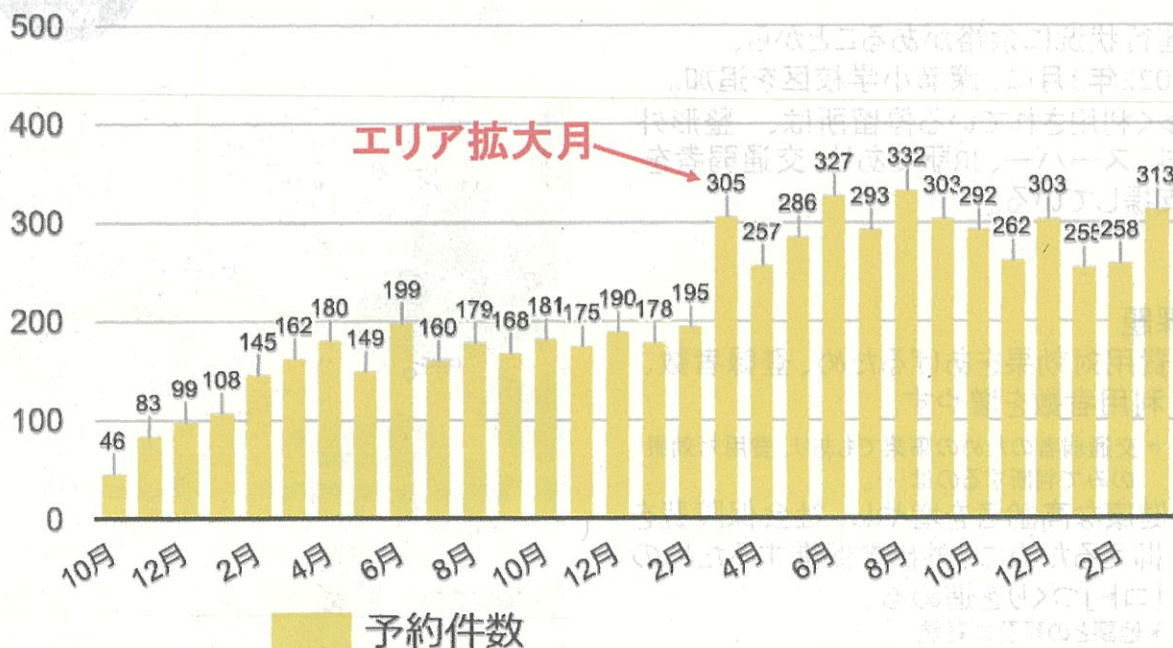
令和3年度:2,259人



チョイソコこうた

チョイソコこうた月別予約件数(延べ人数)

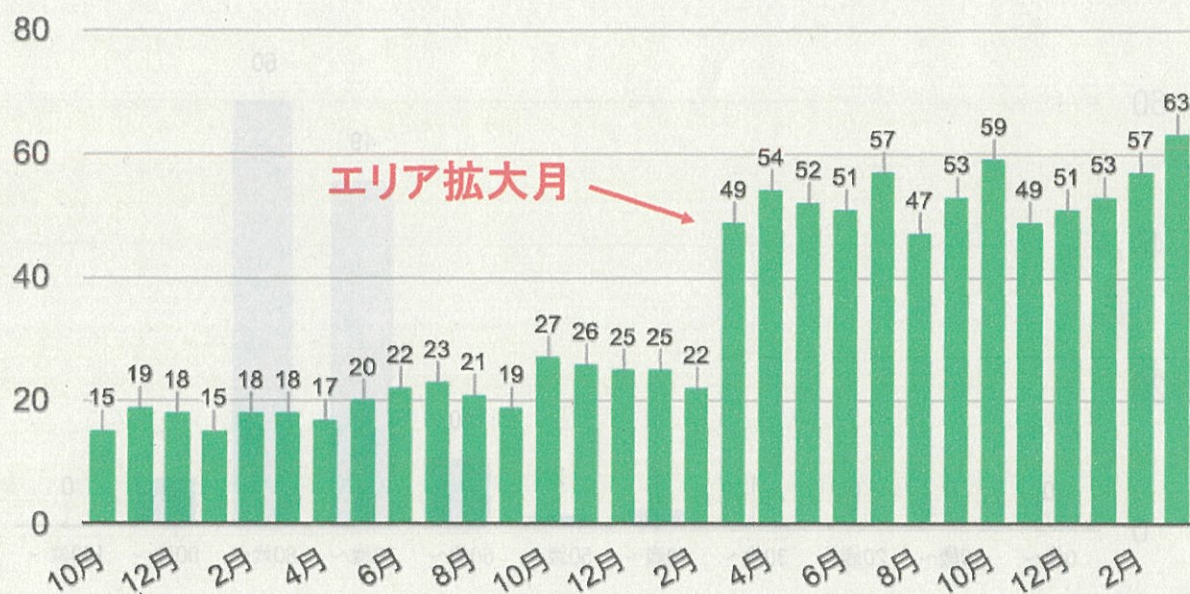
令和2年10月～令和5年3月



チョイソコこうた

チョイソコこうた月別利用人数(実利用者)

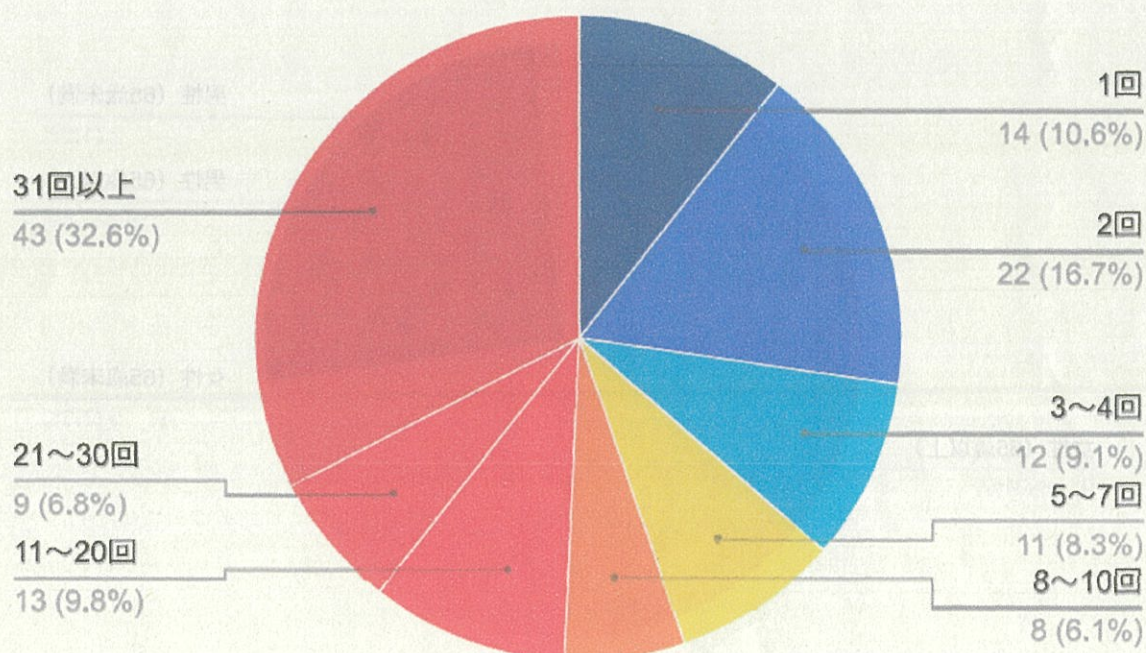
令和2年10月～令和5年3月



24

チョイソコこうた

チョイソコこうた一人当たり予約件数割合

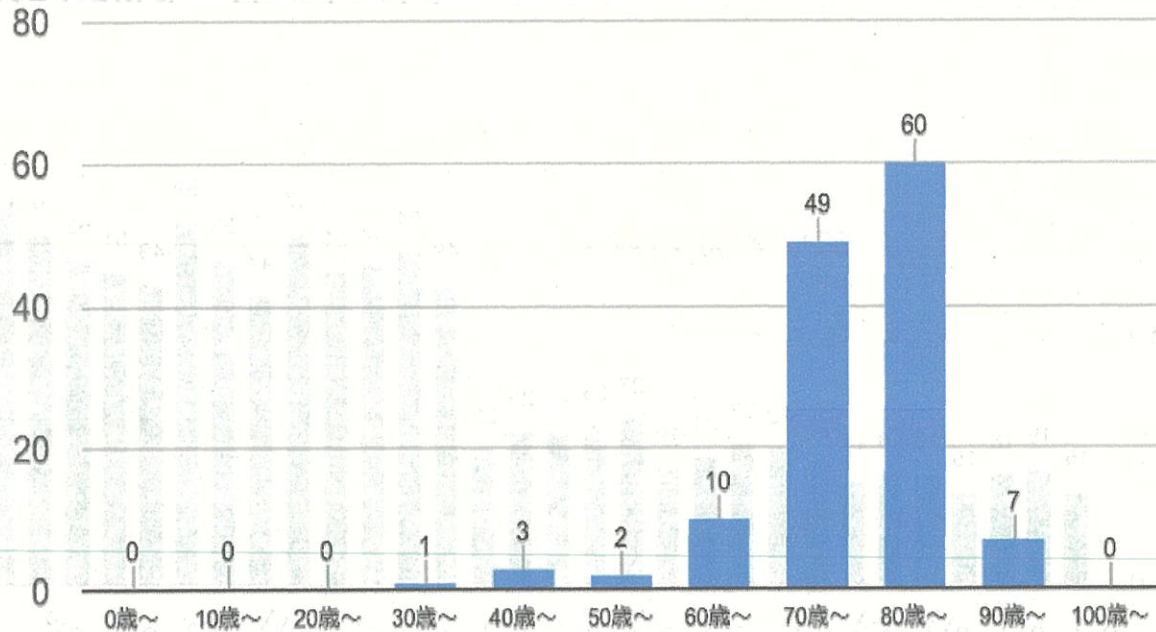


25

チョコソコこうた

チョコソコこうた 年代別 利用者数

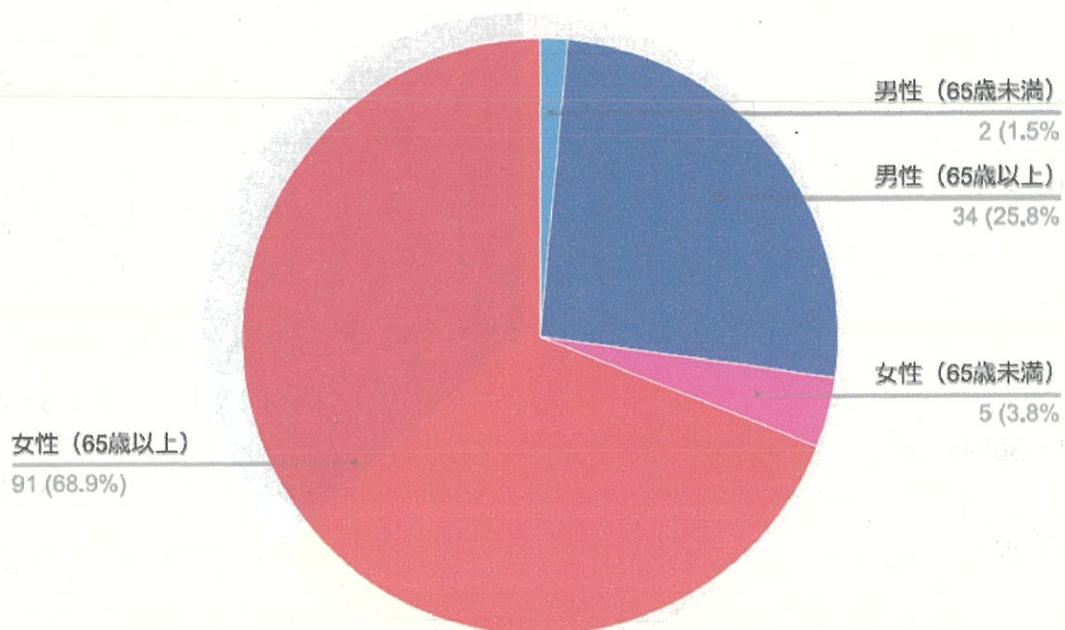
15歳未満～15歳未満



26

チョコソコこうた

チョコソコこうた 利用者の性別割合

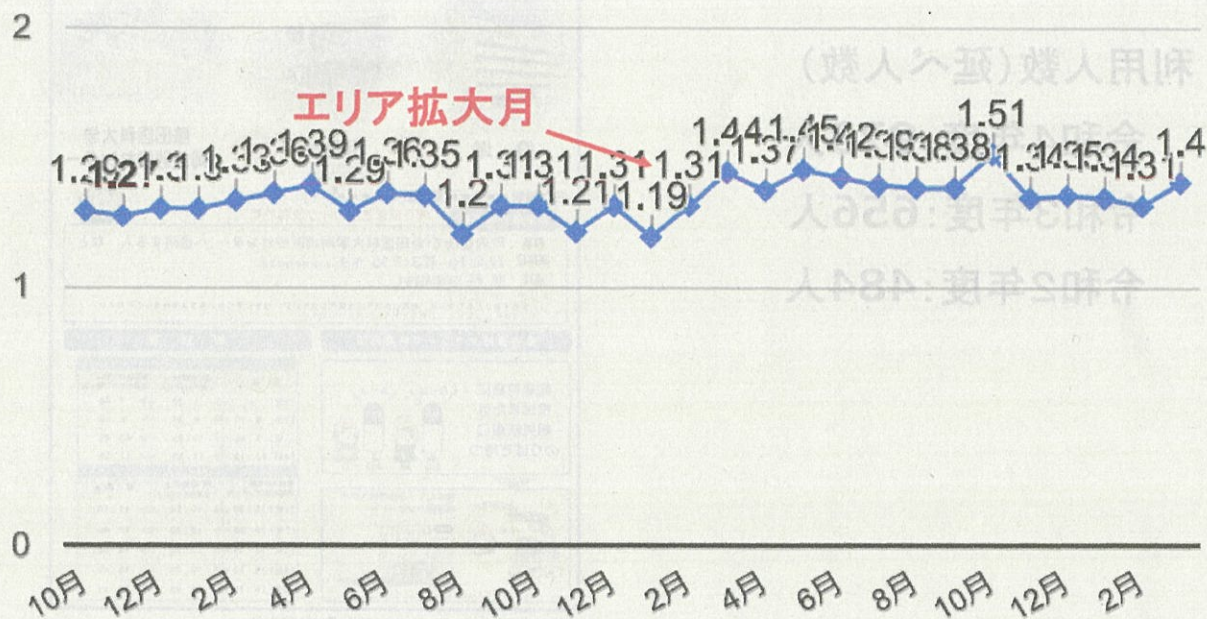


27

チョイソコこうた

チョイソコこうた 月別乗合率

令和2年10月～令和5年3月



28

藤田乗合直行タクシー

○ 藤田乗合直行タクシー

(企画政策課所管)

料金: 無料(R2.4～社会実験中)

対象者: 町内在住で「藤田医科大学岡崎医療センター」へ通院する人

運行形態: 一般乗用旅客運送事業者による路線定期運行

運行日: 年末年始(12/29～1/3)を除く平日

運行エリア: 幸田町役場⇄相見駅⇄藤田医科大学岡崎医療センター

※令和4年3月に幸田町役場を停留所に追加

運行時間: 7時20分～16時55分(行き4便、帰り5便)

※令和4年2月までは行き7便、帰り7便)

委託業者: ㈱レミックス



29

藤田乗合直行タクシー

○ 藤田乗合直行タクシー

利用人数(延べ人数)

令和4年度:973人

令和3年度:656人

令和2年度:484人

役場⇄相見駅⇄藤田医科大学岡崎医療センター

藤田乗合直行タクシー

社会実験!!



役場からも乗れるようになりました!



三ヶ根駅 幸田駅

相見駅まではJRが便利です。

対象 町内在住で「藤田医科大学岡崎医療センター」へ通院する人 など

運行日 4/10~3/31 平日のみ(夜間運行は通信)

運賃 無料(実費精算中)

電話予約は不要です。乗員の乗降場所を案内しますので、乗降に際しあいさつは省略して構いません。

乗客の乗降は乗降場所を案内しますので、乗降に際しあいさつは省略して構いません。

乗客直行タクシーの利用方法



乗客直行タクシーの利用方法

電話予約先: 株式会社レミタス シルバーネット実業 0594(06)3081

お問い合わせ: 乗務員係 企画課課長 渡辺さん 0594(06)1111(内線334)

時刻表

行先	時刻	行先	時刻
役場	7:20	藤田医科大学岡崎医療センター	7:40
相見駅	8:15	相見駅	8:35
相見駅	9:45	相見駅	10:05
相見駅	11:15	相見駅	11:35
藤田医科大学岡崎医療センター	10:30	相見駅	10:50
相見駅	12:00	相見駅	12:20
相見駅	13:15	相見駅	13:35
相見駅	16:00	相見駅	16:20
相見駅	16:15	相見駅	16:35

藤田乗合直行タクシー

○ 藤田乗合直行タクシー 月別利用者数

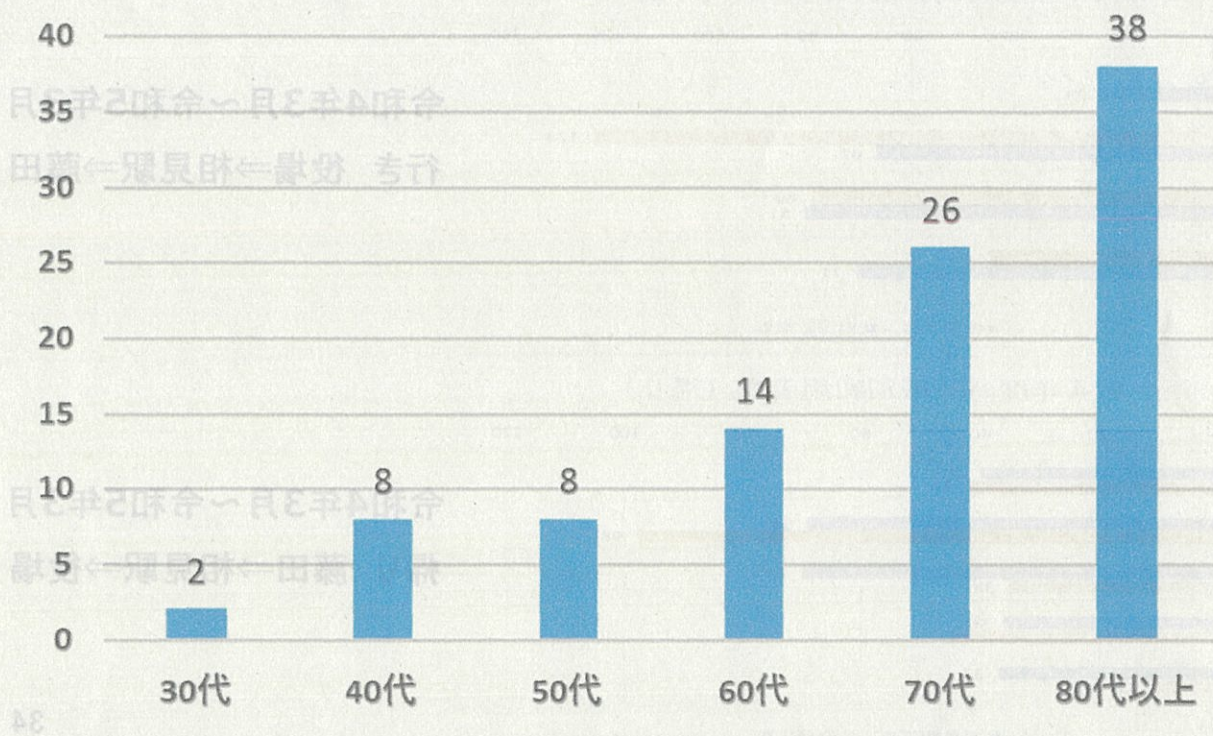
令和2年4月~令和5年3月



藤田乗合直行タクシー

○ 藤田乗合直行タクシー 年代別利数

※利用者アンケートより
令和3年4月～令和5年3月

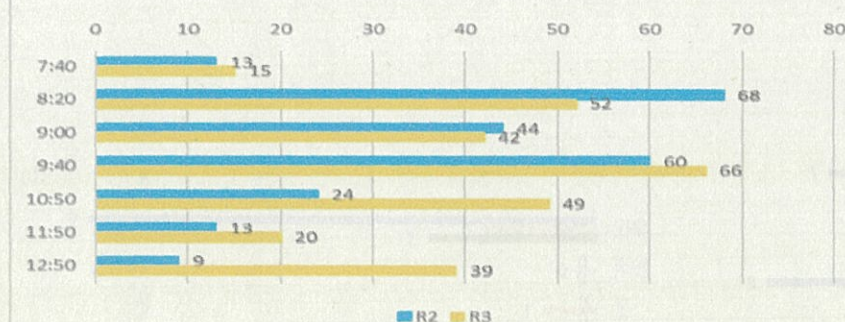


32

藤田乗合直行タクシー

○ 藤田乗合直行タクシー 時間帯別利用者

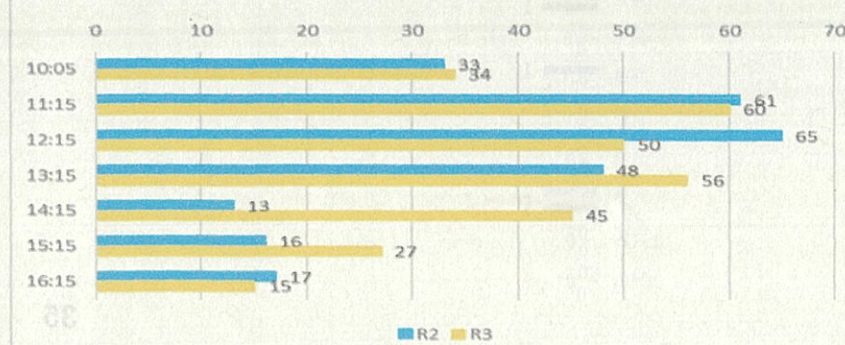
令和2,3年度 時間帯別利用者数 (行き)



令和2年4月～令和4年2月

行き 相見駅⇒藤田

令和2,3年度 時間帯別利用者数 (帰り)



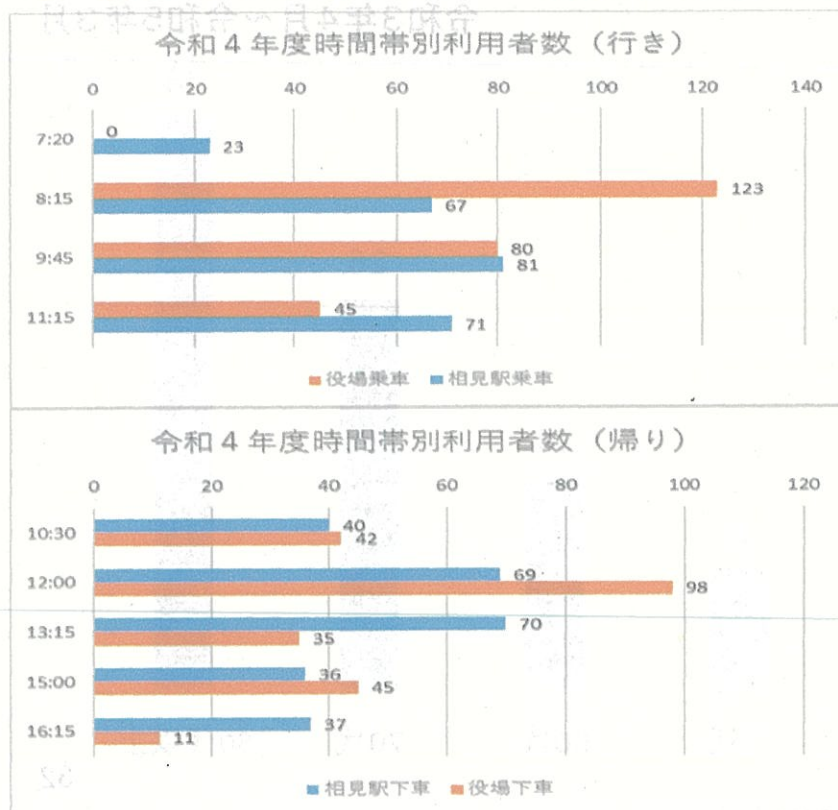
令和2年4月～令和4年2月

帰り 藤田⇒相見駅

33

藤田乗合直行タクシー

○ 藤田乗合直行タクシー 時間帯別利用者



行政已

令和4年3月～令和5年3月
行き 役場⇒相見駅⇒藤田

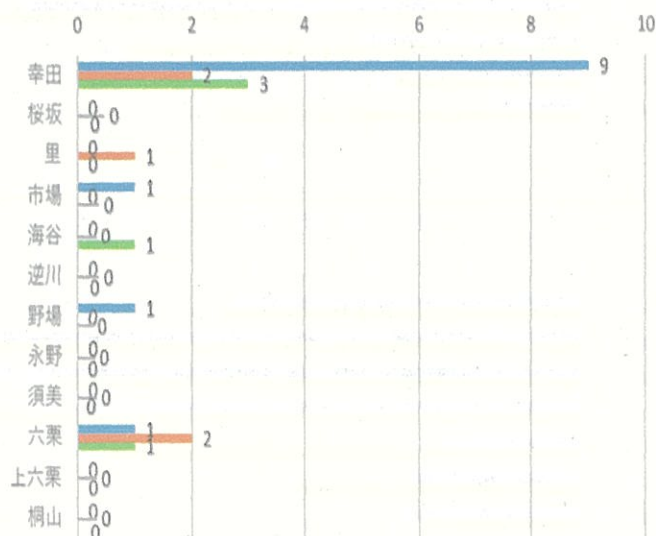
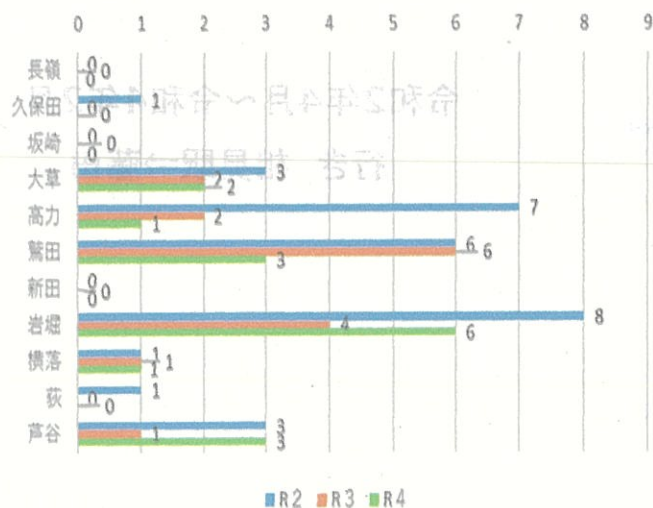
令和4年3月～令和5年3月
帰り 藤田⇒相見駅⇒役場

34

藤田乗合直行タクシー

○ 藤田乗合直行タクシー 居住別利用者数

※利用者アンケートより
令和3年4月～令和5年3月



35

そのほか

坂崎コミュニティライド

ボランティアドライバーに利用者が同乗して移動

地域のきずなをつくる
坂崎コミュニティライド
坂崎地区で取り組んでいる、高齢者の移動手段の確保および地域内のコミュニティを育む「坂崎コミュニティライド」の活動内容について紹介します。

坂崎コミュニティライドとは?

坂崎地区にお住まいの高齢者が、健康で生き生きと暮らすために、地域の有志のボランティアドライバーが、マイカーに高齢者を乗車させて移動を提供する取り組みが坂崎コミュニティライドです。令和4年12月から活動を開始しており、地域の高齢者が月に1度、近所のスーパーマーケットへ一緒にお買い物に出かける楽しみを提供しています。店舗までの移動中の車内では、高齢者の皆さんが会話を楽しまれています。

坂崎のきずなをつくる会

ボランティアドライバーの皆さんは、お買い物サークルの利用者の確認や、ドライバーの決定、地域の課題解決の話し合いを行っています。この集まりを「坂崎のきずなをつくる会」と呼んでいます。毎月1回坂崎公民館で集会を行っています。

利用者の声

「坂崎コミュニティライドのおかげで、お買い物も楽しく、友達もできて、とても楽しいです。」
「毎週楽しみにしています。これからも続けてほしいです。」
「お買い物も楽しく、友達もできて、とても楽しいです。」

ドライバーの声

「お買い物サークルの役割は、高齢者の移動をサポートすることです。」
「お買い物サークルの役割は、高齢者の移動をサポートすることです。」

企業の協賛を募集中!

坂崎コミュニティライドは、ボランティアドライバーの皆さんが、お買い物サークルの役割を担っています。この活動を支えるために、企業の協賛を募集中です。ご協賛くださいましたら、お礼として、お買い物サークルの役割を担っています。

36

そのほか

○ 福祉タクシー料金助成事業（福祉課所管）

対象：町内に住所を有する人で、

次のいずれかの手帳の所有者

- ① 身体障害者手帳1～3級の人
- ② 療育手帳A判定、B判定の人
- ③ 精神障害者保健福祉手帳1級、2級の人

※自動車税又は軽自動車税の減免を受けている人は対象外

助成内容：タクシー利用券

35,000円分(500円券・200円券 各50枚)

※年度途中での申請の場合は定められた枚数分減らして交付されます。

2023年(令和5年)9月29日(金曜日)

幸田町 来月から実証実験

タクシー券ICカード化

高齢者助成 記入の手間省く

「ICカードの読み取りが簡単で、記入の手間も省けます。」
「高齢者助成の記入の手間を省くことができます。」

37

そのほか

○ 在宅高齢者外出支援タクシー利用助成事業（福祉課所管）

対象：町内に住所を有する人で、以下の条件を全て満たす人

- ① 医療・福祉・介護施設に入院・入所をしておらず在宅で過ごす人
- ② 令和4年度末時点で(令和5年3月31日時点)で80歳以上の人
- ③ 次のいずれかの項目のうち、1つでも該当する人

ア 一人暮らし

イ 80歳以上の者のみで構成する世帯の人

ウ 運転免許を受けていない人

※ 福祉タクシー料金利用助成を受けている人は対象になりません。

助成内容：タクシーの普通車初乗り運賃 年間15回分

自宅と町内JR3駅間(直行の場合のみ)運賃全額 年間8回分

38

そのほか

○ 福祉タクシー料金助成事業利用状況

交付者数	利用率(1枚以上使用した人の割合)
令和4年度:514人	74%
令和3年度:490人	69%
令和2年度:486人	66.8%

○ 在宅高齢者外出支援タクシー利用助成事業

交付者数	利用率(1枚以上使用した人の割合)
令和4年度:501人	57%(初乗運賃)、33%(JR3駅)
令和3年度:427人	59%
令和2年度:433人	51.5%

39

そのほか

○ 鉄道(JR東海)

一日平均乗車数

三ヶ根駅

(令和4年度)

843人

(令和3年度)

821人

(令和2年)

812人

(令和元年)

1,013人

幸田駅

(令和4年度)

3,457人

(令和3年度)

3,445人

(令和2年)

3,383人

(令和元年)

4,215人

相見駅

(令和4年度)

1,460人

(令和3年度)

1,313人

(令和2年)

1,319人

(令和元年)

1,630人

そのほか

○ タクシー

・幸田タクシー(株)

一般乗用旅客運送事業者

・(株)レミックス

一般乗用旅客運送事業者

一般貸切旅客運送事業者

・福祉タクシー げん

一般乗用旅客運送事業者(福祉タクシー)

○ その他の公共交通機関

なし ※名鉄バス(岡崎・幸田線)が平成26年に廃止

地域公共交通会議

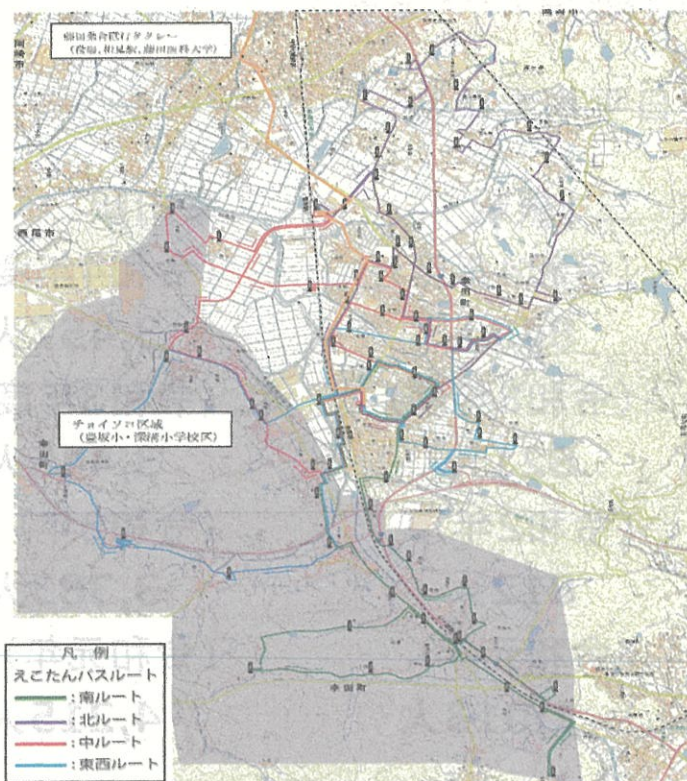
町事業

- ・えこたんバス
- ・チョイソコこうた
- ・藤田乗合直行タクシー
- ・坂崎コミュニティライド
- ・福祉タクシー料金助成事業
- ・在宅高齢者外出支援タクシー
利用助成事業

民間

- ・鉄道(JR東海)
- ・タクシー

社会実験を踏まえ、幸田町に最適な公共交通サービスを考えるため、令和4年7月に、**地域公共交通会議**を設立。
令和5年度は、**地域公共交通計画**を策定予定。

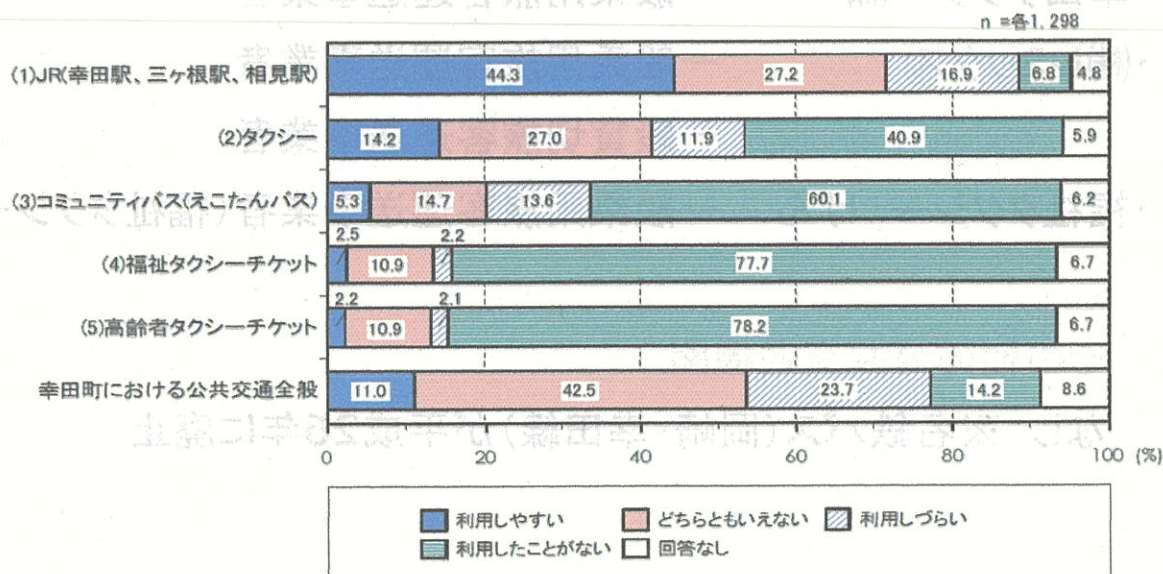


42

地域公共交通会議

令和4年度に実施した住民意識調査によると...

幸田町の公共交通の利用のしやすさを尋ねたところ、利用しやすいとの回答は「JR(幸田駅、三ヶ根駅、相見駅)」(44.3%)では多いものの、それ以外については総じて少なくなっている。「幸田町における公共交通全般」の評価についても、利用しやすいとの回答は11.3%にとどまっており、住民にとって利用しやすい公共交通にあり方について検討する必要がある。



43

地域公共交通会議

○立上の経緯

(1) 社会情勢

近年、高齢者による重大な事故の発生が社会問題化しており、運転免許返納の機運が高まっている。このような流れは、自家用車が生活の基盤となる地域にとっては、交通弱者の増加につながるため、公共交通の担う役割が大きくなってきている。

そのような情勢の中で、国においては地域のニーズにきめ細かく対応するために交通事業者や住民などの地域の関係者と協議しながら進める、「地域公共交通計画」の策定を市町村に勧めており、実現に向けた支援をしている。

(2) 町の状況

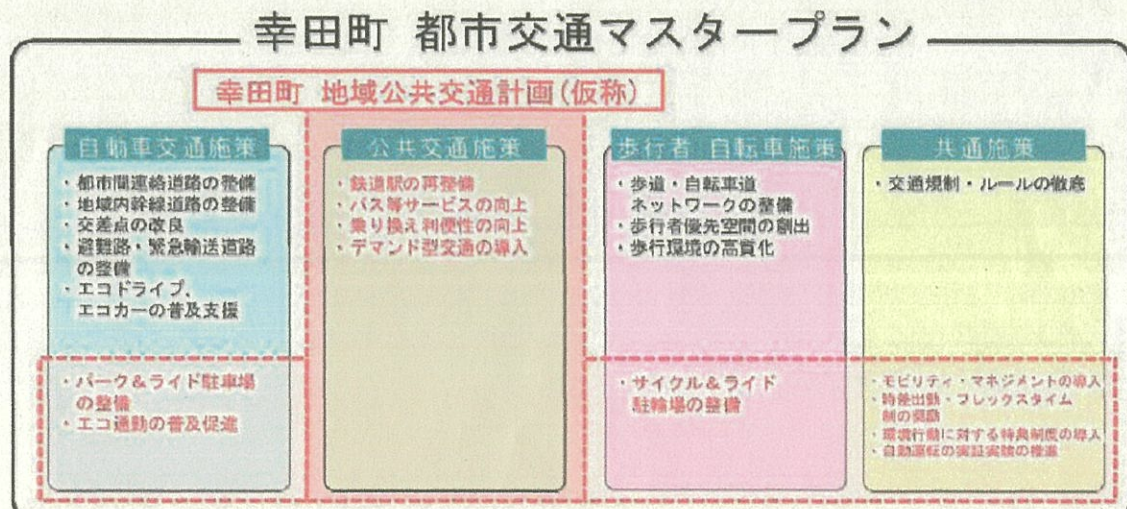
- ・本町にはJR3駅が立地しているが、バス路線が撤退しているため、町内の移動手段において乏しい現状がある。
- ・そのような中で、コミュニティバスである「えこたんバス」の無料運行を続けており、令和2年度からは、デマンド型交通サービスである、「チョイソコこうた」や藤田医科大学岡崎医療センターへの直行タクシーの社会実験にも取り組んでいる。
- ・運行している複数の交通サービスがうまく連携できておらず、効率的かつ持続的な移動手段となっていないという意見を多くいただいている。

44

地域公共交通会議

○立上の経緯

(1)～(2)を踏まえて、課題の分析と既存の公共交通についての整理(路線の再編等)を行うことで、より町民にとって利用しやすい交通体系の確立と、持続可能な公共交通の将来を描く計画策定とその実施について事業者や地域住民及び関係機関と議論する場が必要である。



45

愛のある
幸せなまち
幸田町